

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区
若木リカ

発行責任者
濱崎 博

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書



学区ホームページ



津事務局長は、学区の空
き家対策委を法人化し、
事業展開が可能な組織に



空き家対策委、法人化視野検討へ

新事務局長に栗津広之氏選出

学区自治連合会の専門部会、空き家対策委員会(委員長、野々口義信学区自治連合会長)は2月19日、日吉台市民センターで委員会を開催、新しい事務局長に栗津広之氏を選任するとともに活動見直しに着手、対策委を法人化することを視野に入れ、検討を始めることにした。

学区の空き家対策委は、守り活動を行うAプランと、専属の見守り隊が家屋の小修理、庭木の伐採までを行うBプランの活動を行ってきた。

この日の委員会では、10年に及ぶ活動報告と現状報告のあと、今後の活動方針を検討、同対策委発足以来、事務局長を務めた濱崎博氏に代わって栗津氏の事務局長就任に同意した。この日の活動報告で、Bプランについて、契約者が現在2件に減少しているうえ見守り隊の実働隊員も高齢化で確保が難しくなっていることから、休止が提案された。Aプランについては、空き家所有者の死亡、空き家の売却、連絡不明などで現在、見守り希望者が5件程度に減少し

日吉台新聞発行へ新組織

まちづくり支援会議設置

日吉台新聞発行継続ほか学区のまちづくり活動を支える「学区まちづくり支援会議」の設置が2月21日開催された学区自治連合会定例会員会で承認された。学区のコミュニティ紙、日吉台新聞を

発行していた学区まちづくりカンパニーが7年度限りで解散することになり、新聞発行が途絶えることになった。と心配する声があがっていた。支える母体の設置が認められたことで同新聞の継

新聞発行、野菜マルシェ、日吉台コンサート、コミュニティカレッジなどの活動を行ってきた。設立以来12年が経過し、活動中核メンバーが高齢化。後継者育成もままならず事業の継続が困難になり、令和7年度をもって組織活動終了方針を決め、11月15日開いた学区自治連合会定例会員会に報告、約12年間におよびまちづくり活動に終止符をうつことになった。運営母体がなくなることで、野菜マルシェ、コミュニティカレッジについては、7年度限りで活動休止としたが、日吉台新聞は、継続発行を決め、支援団体設立を模索していた。

アルミ缶等不法回収に市対策

不審者みつけたら110番

自治連呼びかけ

アルミ缶など資源ゴミの不法回収防止策について、学区自治連合会は2月21日開いた学区自治連合会定例会員会で、不法回収を見かけた場合は「110番通報を」として市の方針案を各自治会

に説明、市指定ゴミ袋に対象自治会名を記入するよう呼び掛けた。市環境部と市民部自治協働課は、市内各学区で相次ぐアルミ缶などの資源ゴミの持ち去りについて、このほど司法の手を

借り未然に防ぐ方針を発表した。日吉台学区でも他府県ナンバーの軽四輪トラックが、資源ゴミ回収日の早朝6時ごろから住宅内を走り回り、袋ごと持ち去るケースが目撃されている。学区では、

新聞、雑誌、段ボール、古布、アルミ缶等の資源ごみの集団回収で、市助成金、回収売り上げ合わせ年間約40万円の収入があり、全額各自治会に配分されている。不法な持ち去りがなければ、各自

自治会に配分される資源ゴミ売り上げと市の助成金の上積みが見込めるとして、改めて学区住民に市の新たな方針を説明、住民に協力を呼びかけた。指定ゴミ袋に自治会名を書くことで持ち去りについての犯罪性の立証が容易になり、警察による迅速な対応が可能となる。その上で110番通報のさい、可能な限り、車両ナンバー、車種を知らせたい、としている。

下り坂走行注意

- ◆自然加速で速度超過
- ◆制動距離増加

◆終端付近見通し不良

制限速度を守り 終端付近では最徐行

空き家所有者からの依頼を受け、庭の手入れをする空き家対策委のメンバー(令和元年9月撮影)



日吉コミュニティスクール総会

生徒第一の学校づくりめざし

取り組み、活動など報告



KKRホテルびわこで開催される日吉コミュニティスクール総会

日吉コミュニティスクール、日吉中学校の学校運営協議会の令和7年度第2回総会が大阪市下阪本の「KKRホテルびわこ」で開かれ、同中の現状と取り組み、学校運営協議会の今年度の取り組み、新年度方針などについて報告された。

総会には、日吉中学校校区の坂本、下阪本、雄琴、日吉台学区の自治連会長、学校運営委員、各種団体役員、教育関係者ら約60人が出席、角田豊学校運営協議会長が「子どもたちを大切に取る取り組みを継続させてきた。この力をさらに発展させたい」とあいさつした。

まず最初に学校側から今年度の同中の現状と取り組み、子どもたちの学校での活動ぶりについて報告があった。1年生は、新しい中学校での生活に不安をかかえ学校の門をくぐった。間もなく行われた葛川ふるさと体験学習。手づかみしたアマゴを串刺しにして焼いて食べ、生命をいただく貴重な体験を学び、新しい学校生活に慣れることが出来てきた、という。また3年生の沖縄修学旅行。沖縄の人たちと平和学習などで交流を深めた。

徒、保護者、教職員によるアンケート調査を分析した学校評価報告が行われた。報告によると、学校満足度調査で、生徒の9割以上が前向きで楽しい学校生活を送っていると思っており、保護者も89%が肯定的に回答、学校側の取り組みに保護者が、高い評価を与え、4年連続で高水準を維持していた。

全国的に問題になっているいじめ問題について、生徒の94%が学校側の取り組みについて評価、「いじめゼロ」をめざす学校側の毅然とした態度を賞賛し、道徳教育や人権学習の成果が生徒の意識に深く浸透していることが判明した、という。

ただ、学校側の生徒への学習指導では、保護者にその取り組みが十分に伝わっていないことが判明。道徳教育の取り組みについても保護者からの評価が低かったことが今回の調査で明らかになり、保護者への周知、広報を強化することとした。

最後に竹下ゆかり地域学校協働活動推進委員から今年度の取り組みテーマ「食にまつわる学びについて」の活動報告があり、次年度の方針について今後議論を重ねてゆくことを確認した。

この日は、日吉台市民センターの第1、第2、大会議室などを使って「みんなで楽しむ読書会」「ネットショッピングを始めよう」「声でリフレッシュ！ボイストレーニング」はじめての消しゴムはんこ」「ラクラク英会話」「あつまれ、ちびっ子子育てネットワーク」など6講座が開かれ学区民や子どもたち約50人と10組のファミリーが受講した。

第1会議室で開かれた「はじめての消しゴムはんこ」の講座では、約10人がセンセイからトレイの仕方、カッターナイフを使っている図案や動物の顔などの彫り方のコツを教わってもらい真剣に取り組んでいた。(写真は熱心に消しゴムはんこづくりに取り組む講座参加者たち)

消防分団員募集

慢性的な団員不足解消めざし

大規模災害や巨大地震災害が懸念されるなか、学区の防火、防災活動に尽力する大津市消防団日吉台分団(坂口修一分団長)は、団活動に理解を求めるとも意欲ある入団希望の団員を募っている。

同分団は、昨年発足30

周年を迎えた。平成4年4月、有志20人が日吉台分団設立準備のため坂本学区の坂本消防分団に入団して活動開始。その後平成7年4月、坂本分団から独立し日吉台分団が発足した。自営業、会社員、公務員などさまざまな職種の団員が在籍。特別職の地方公務員として活動している。

消防団の活動としては、平常時は、消火、防火訓練、救出、救助訓練、防火啓発活動がある。また災害発生時には、消防署と連携し各種訓練を活かした緊急活動をしている。日吉台住民の高齢化で

慢性的に欠員状態が続く、さらに分団員は職業を持つていないため昼間不在のことが多い。団員集めは、現役団員が口コミや知り合いを頼りに入団してもらっているのが現状だ。

コミュニティカレッジ開催

学び、楽しむ6講座



学区まちづくりカンパニー(会長、濱崎博元学区自治連合会長)主催の第5回「日吉台コミュニティカレッジ」が2月22日、日吉台市民センターで開かれた。

「みんながセンセイ、みんながセイト」と銘打つユニークなカルチャー講座。主催する学区まちづくりカンパニーは今年度限りで役目を終え解散する予定で今回が最後の講座となった。

令和8年度学区自治連会計 予算編成方針

令和8年度学区自治連会計予算編成方針は、7年度学区会計決算概要を元に試算、策定したものである。

収入の部、学区予算収入の柱となるのが各自治会分担金。各自治会の会員は、依然減少傾向にあり新年度の会員数として、

減額を前年度比5万円減の206万円を見込んだ。市のパワープラン補助金10万円を成金10万円を8年度も引き続き受け入れ見込み。日吉台まつり、運動会などに収入減見込みに対し、支出面では、日吉台まつり、運動会の事業費を圧縮、自治連事業費の渉外費も3万円減額させるほか、各種団体の助成費についても事業内容まで踏み込んだ削減を依頼するなどして収支均衡を計ることとした。

市街灯+私街灯

玄関灯・門灯 点灯にご協力ください!

- 夜道も明るくて安心
- 泥棒に狙われにくい街づくり

令和8年度学区自治連会計予算編成方針が2月21日開かれた学区自治連会計定例役員会に提案され、了承された。

学区自治連執行部は、令和7年度最終決算案を確定のうえ8年度学区自治連会計予算案を策定公表する。

編成方針は、7年度学区会計決算概要を元に試算、策定したものである。

収入の部、学区予算収入の柱となるのが各自治会分担金。各自治会の会員は、依然減少傾向にあり新年度の会員数として、

減額を前年度比5万円減の206万円を見込んだ。市のパワープラン補助金10万円を成金10万円を8年度も引き続き受け入れ見込み。日吉台まつり、運動会などに収入減見込みに対し、支出面では、日吉台まつり、運動会の事業費を圧縮、自治連事業費の渉外費も3万円減額させるほか、各種団体の助成費についても事業内容まで踏み込んだ削減を依頼するなどして収支均衡を計ることとした。

門灯点灯やセンサーライト取り付けは多くの警察で防犯対策として推奨されています。
電気代はLED電球(40W電球相当)の場合、1日12時間点灯でも月60円程度です。

困ります!そのオシッコ!

マナーを守りましょう!

犬のトイレは適切な場所で!

※ 犬の散歩の際は、フン尿の処理が可能な用品(ビニール袋、水入りペットボトル)をしましょう。

大津市動物愛護センター